



平成 22 年 12 月 7 日

各 位

札幌市北区北 9 条西 3 丁目 7 番地
会 社 名 株式会社 土屋ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 土屋 昌三
(コード番号 1840 東証第 2 部・札証)
問 合 せ 先 責任者役職名 総合企画部長
氏 名 竹中 邦夫
電 話 番 号 011-717-5556

通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 12 月 11 日付「平成 21 年 10 月期決算短信」にて公表いたしました平成 22 年 10 月期（平成 21 年 11 月 1 日～平成 22 年 10 月 31 日）の通期業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想修正

(1) 平成 22 年 10 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 21 年 11 月 1 日～平成 22 年 10 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	24,186	351	309	149	5 円 86 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	23,396	467	483	267	10 円 47 銭
増 減 額 (B - A)	△790	116	174	118	4 円 61 銭
増 減 率 (%)	△3.3	33.0	56.3	79.2	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 10 月期)	24,156	148	116	11	0 円 45 銭

(2) 業績予想修正の理由

当連結会計年度における当社（連結）の状況は、売上の伸長が難しい経済環境の中で、当初売上・利益計画を達成するために、組織及び営業体制を一層強化し、原価低減と経費削減努力を継続したことで収益の改善となりました。

営業利益に関しては、わずかながら当初受注・売上計画を達成するまでには至らなかったものの、長期優良住宅事業採択による付加価値の向上や昨年度より実施しておりますグループ連携の網羅的な原価低減が大きく寄与したことから利益率の改善につながり、また、販売費及び一般管理費の圧縮努力も功を奏して増益となりました。

経常利益に関しては、上記の営業利益増加要因に加えて、在庫圧縮による借入残高減少によって当初計画を大幅に上回りました。

以上のような企業努力をグループ一丸で行った結果、当連結会計年度の売上高は、当初計画より7億90百万円減の233億96百万円（前回発表予想比3.3%減）、営業利益は同1億16百万円増加し4億67百万円（前回発表予想比33.0%増）、経常利益は同1億74百万円増加し4億83百万円（前回発表予想比56.3%増）、当期純利益は同1億18百万円増加し2億67百万円（前回発表予想比79.2%増）となる見込みとなりました。

2. 配当予想修正

(1) 修正の内容

	1株当たり配当金（円）		
	中間期末	期末	年間
前回予想(平成21年12月11日発表)		1円00銭	1円00銭
今回修正予想		2円00銭	2円00銭
当期実績	0円00銭		
(ご参考)前期実績	0円00銭	0円00銭	0円00銭

(2) 配当予想修正の理由

当社は、当連結会計年度におきましては、1株当たり1円00銭の普通配当を実施する予定でありましたが、上記業績の通り増益の見込みとなりましたので、予想より1円00銭増配し、2円00銭配当に修正いたします。

以上